

---

# 令和7年度予算第二特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和7年3月5日

質問者（質問順）

- 1 柏原 すぐる 委員（維新会）
- 2 みわ 智恵美 委員（共産党）
- 3 深作 祐衣 委員（民主フ）
- 4 山田 一誠 委員（自民党）
- 5 伊波 俊之助 委員（自民党）
- 6 安西 英俊 委員（公明党）
- 7 かざま あさみ 委員（立憲党）
- 8 大野 トモイ 委員（トモイ）

こども青少年局

# 局 別 審 査

1 柏 原 すぐる 委員（維新会）
-------------------

## 1 令和7年度予算編成の考え方について

- (1) 令和7年度予算案の編成に当たっての考え方について伺いたい。
- (2) 令和7年度予算案における歳出改革の取組及び評価について伺いたい。

## 2 パマトコについて

- (1) パマトコを通じた発信の効果と基準の検討状況について伺いたい。
- (2) 開発の実施体制及び発注形態について伺いたい。
- (3) 開発・権利の先行者利益を生かすなどパマトコでの財源確保策を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 3 保育・教育人材確保事業について

- (1) 今後の保育ニーズや人材の流出入を踏まえた保育士確保の認識について伺いたい。
- (2) 保育士確保のために紹介業者に紹介料を支払うより、保育に直接的につながる用途とすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 厚生労働省が行っている資格取得支援制度の市内保育事業者による活用状況について伺いたい。
- (4) 国の資格取得支援制度を活用するため、民間事業者や大学等との連携により伴走することを検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (5) 保育園は一園だけで運営するケースも多いが、企業でいう業界再編のような、規模の拡大を促していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 4 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）について

- (1) 令和6年度の試行的事業の実施状況及び利用状況について伺いたい。

- (2) 令和7年度の目標利用時間が令和6年度から半減している理由について伺いたい。
- (3) 制度創設の目的が有効に機能しているのか伺いたい。
- (4) 支援につながっていない人も利用しやすいなど、制度本来の意義に適う運用とすべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 5 放課後キッズクラブ・放課後児童クラブにおける長期休暇中の昼食提供について

- (1) 令和7年度の改善点について伺いたい。
- (2) 安心して利用を開始できる環境づくりが大切と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 一食あたりの利用者負担額及び市負担額について伺いたい。
- (4) 独自に昼食提供するクラブに同程度の補助を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 6 小学生の朝の居場所づくりモデル事業について

- (1) 実施校選定の考え方、利用者アンケートを踏まえた事業改善の状況及び各校における保護者への周知状況について伺いたい。

## 7 障害ニーズへの対応について

- (1) 知的障害児数について、区ごとに差があることへの認識について伺いたい。
- (2) 地域それぞれのニーズを捉えた障害児支援を一層実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 事業所を選ぶことが難しくなっている課題を解決するための今後の取組について伺いたい。
- (4) 障害児相談支援の利用率が低い理由及びそれによる障害のある子どもたちや家庭への影響について伺いたい。
- (5) 障害児相談支援に関する今後の計画について伺いたい。
- (6) 相談支援のニーズにしっかりと応えられる障害児相談支援の充実に向けた体制づくりを確実に実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。

8 困難を抱える若者に対するSNS相談事業について

- (1) 令和6年度のよこはま子ども・若者相談室の相談実績について伺いたい。
- (2) アンケートから分かった相談につながったきっかけについて伺いたい。
- (3) 事業効果に対する認識及び今後の取組について伺いたい。

9 横浜型児童家庭支援センターについて

- (1) 横浜型児童家庭支援センターが担う役割について伺いたい。
- (2) 予算拡充の内容について伺いたい。

10 支援が必要な子どもたちを支える仕組みについて

- (1) いじめ・不登校に関する教育委員会と市長部局との連携強化に向けた検討状況について伺いたい。
- (2) 総合的ないじめ防止に向けた対策の充実・強化における区役所・児童相談所による支援について伺いたい。
- (3) 専門職の業務を効率化し、支援に注力できる環境を早期に整えるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (4) いじめや不登校など困難を抱える子どもたちを支えるため、地域の多様な居場所づくりを一層充実すべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 虐待死を防ぐための妊娠期からの支援について

- (1) こどもの虐待死で一番多い年齢及び割合について伺いたい。
- (2) にんしんSOSヨコハマの相談実績及びその主な相談内容について伺いたい。
- (3) にんしんSOSヨコハマから把握した支援が必要な対象者への対応について伺いたい。
- (4) 特定妊婦の人数について伺いたい。
- (5) 特定妊婦に対する支援内容について伺いたい。
- (6) 児童虐待防止について、さらなる周知が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 児童虐待相談対応件数には、継続支援の件数は含まれないのか伺いたい。
- (8) 児童虐待対策の推進に向けた決意について伺いたい。
- (要望) 職員に負担感だけが増えないように、人員配置にも配慮していただきたい。

2 こども誰でも通園制度について

- (1) 利用に当たっての事前面談の実施内容について伺いたい。
- (2) 面談についての市からの給付の有無について伺いたい。
- (3) 利用する人の費用負担について伺いたい。
- (4) 利用した場合の給付の有無について伺いたい。
- (5) キャンセル発生時の対応について伺いたい。
- (6) 事前キャンセルの場合の補填について伺いたい。
- (7) 事前キャンセルの場合は負担だけが発生している状況ではないのか伺いたい。
- (8) 初めての保育環境で泣き止まないこどもがいると、保育士と1対1での対応とならざるを得ないため、通常の保育現場から人員を補っての対応となるのではないかと考えるが、見解を伺いたい。
- (9) こども誰でも通園制度の導入の目的について伺いたい。

(10) 保護者への対応も求められるのではないのか伺いたい。

(11) 特定妊婦の課題に対応できる仕組みか伺いたい。

(要望) 本市が親の就労に関わらず、全てのこどもに保育環境を整え、成長を支えるという立場で、自治体としての責務をしっかりと踏まえた上で取り組んでいただきたい。

### 3 保育士確保大作戦について

(1) 就職面接・相談会の実績について伺いたい。

(2) 高等職業訓練促進給付金事業の概要について伺いたい。

(3) 給付を受けて卒業した人の保育士資格取得状況及び就労状況について伺いたい。

(4) 事業者が保育士を直接採用するための取組をより一層進めるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 一般の仕事と同程度の賃金に引き上げていくことなど、さらなる改善を要望したい。

### 3 深 作 祐 衣 委員（民主フ）

#### 1 産後母子ケア事業について

- (1) 利用者が少ないことについての見解を伺いたい。
  - (2) 誰でも利用できるよう対象を拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (3) 実施施設を拡充するための取組について伺いたい。
  - (4) 利用手続を簡略化すべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (5) 死産・流産した人への周知方法について伺いたい。
  - (6) マニュアルに沿って安全に事業を実施していることを確認すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 本市でもユニバーサルなサービスを目指して、遠慮せずにサービスを利用できるようにしていただきたい。
- (要望) 利用手続の簡略化について、予算化をしてでも進めていただきたい。併せて、2週間先しか予約ができないことについても改善していただきたい。
- (要望) 事故を繰り返すことなく母子を救っていくために、事業者任せではない管理体制をつくっていただきたい。

#### 2 3歳児健診における屈折検査について

- (1) 多くの市民に対して周知啓発をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (2) 試行実施の対象外となるこどもたちのフォロー体制の構築について伺いたい。
  - (3) 両親学級や4か月健診などで乳幼児の視覚の発達や弱視についての周知・啓発をすべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 屈折検査だからこそ発見できるものであるため、対象外となるこどもたちへの救済措置について検討していただきたい。
- (要望) 早期に発見すれば治るということを伝えるため、広報などに努めていただきたい。

1 こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランについて

(1) 計画に込めた思いについて伺いたい。

(2) 計画の推進方法について伺いたい。

(要望) 計画推進に当たっては、目の前にいる母子やこども等に寄り添って支援をしていただきたい。

2 こどもの意見表明権について

(1) こどもの意見表明の機会の確保に関する令和7年度の実施について伺いたい。

(2) こどもの意見表明の機会の確保及び施策反映を全市に広げていくための実施について伺いたい。

(3) 市内会議のトップとなり本市のこどもの意見表明権に関する実施を進める決意について伺いたい。

(要望) こどもを守る実施は意見表明だけに限られるものではないため、実施において知見を蓄えていただきたい。

3 こどもの自殺対策について

(1) 現在のこどもの自殺者数の状況の受け止めについて伺いたい。

(2) こどもの自殺対策に関するこども青少年局の実施について伺いたい。

(3) こども青少年局として、こどもの自殺対策をこどもの重要な課題の一つとして明確に位置付けて対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) こどもの自殺対策を局横断的に対応すべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 妊産婦・乳幼児の災害対策について

(1) 令和6年度作成の市民向けガイドラインの内容について伺いたい。

(2) 令和7年度の実施内容について伺いたい。



(3) 母子専用型福祉避難所は具体的にどのようなものを想定しているのか伺いたい。

(4) 災害弱者としての妊産婦・乳幼児に対する理解を深め、地域防災拠点をはじめとする防災訓練に生かしていくべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 一時避難所や在宅避難における支援体制の充実も必要と考えるため、取組を推進していただきたい。

(要望) 妊産婦・乳幼児は要支援者とされていながら、要支援者名簿がまだできていないため、つくっていただきたい。

## 5 児童相談所の一時保護開始時の司法審査導入の意義及び今後の対応について

(1) 一時保護開始時に司法審査が導入される意義について伺いたい。

(2) 司法審査の導入に当たっての児童相談所の準備状況について伺いたい。

(3) 法的対応や相談のニーズがより高まった際には、法律の専門家のさらなる活用を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 法的手続等がしっかりしていないと制度としては機能しないため、常勤弁護士を増やすなど、様々な形で取組を推進していただきたい。

## 6 外国にルーツのあるこどもの保育に対する補助の拡充について

(1) 令和7年度予算における外国にルーツのあるこどもの保育に対する支援の拡充内容について伺いたい。

(2) 外国にルーツのあるこどもの支援をより円滑に行うために、保育士がそれぞれの背景にある文化や習慣などを学ぶ機会を設けるべきと考えるが、見解を伺いたい。

1 子育て家庭の移動支援について

- (1) 今後、どのように子育てタクシーのサービス提供エリアを拡大していくのか伺いたい。
  - (2) 過去3年の市内の多胎児の出生数について伺いたい。
  - (3) 双子や三つ子などの多胎児を育てる家庭に対し、タクシー補助券を配付するなどの移動支援施策を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 双子や三つ子を育てる家庭にもさらなる支援の充実を要望する。

2 預けやすいまちヨコハマの推進と関連する取組について

- (1) 短時間預かり事業を実施する狙いについて伺いたい。
  - (2) 保育所等におけるこどもの人権を守るための環境整備事業での直近の申請実績について伺いたい。
  - (3) 市として積極的に制度の活用を呼びかけ、申請数を増やしていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) こどもの健やかな育ちが将来にわたって続くよう、しっかりとした制度設計を要望したい。
- (要望) こどもたちが安全・安心に、健やかに成長できる環境整備や仕組みづくりにつなげていくことを強く要望したい。

3 長期休業期間中の昼食提供事業について

- (1) 事業者から出された意見について伺いたい。
- (2) 事業の拡大に向けた見直し内容について伺いたい。
- (3) こどもが満足する事業とすべきと考えるが、見解を伺いたい。

4 放課後キッズクラブのデジタル化の推進について

- (1) 放課後 e-場所システム導入の狙いについて伺いたい。
- (2) クラブにとって実用的なシステムとすべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 5 こどものいじめ・不登校・自殺対策について

- (1) いじめや不登校などの学齢期のこどもの問題について、学校だけに任せるのではなく、市長部局のこども施策の担当部局であるこども青少年局などでも直接対応し、地域総がかりでこどもを支援していくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (2) 本市においてもこども家庭庁のいじめ防止対策のモデル事業を活用していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (3) 本市においても、こども家庭庁の不登校支援の事業を活用して地域全体で不登校のこどもへの支援を行っていくことが必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (4) 本市でも、こどもの自殺対策として、こどもを中心とした地域づくりにも資する地域の多職種の特任専門家チームを設置すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) こども家庭庁等としっかりとコミュニケーションをとりながら、これまで以上にこどもたちを守るための取組を進めていただきたい。

1 子育て応援アプリ「パマトコ」について

- (1) パマトコを利用する市民から見た課題について伺いたい。
- (2) パマトコを利用する職員から見た課題について伺いたい。
- (3) 地域子育て支援拠点から見た課題及び改善の方向性について伺いたい。
- (4) システム導入時のキッズクラブ等への支援状況について伺いたい。
- (5) 今後のキッズクラブ等への支援方針について伺いたい。
- (6) 市民が安心して利用することができるよう確実なセキュリティ対策を講じるべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 先行するシステム開発で得られた知見を横展開し、全庁的に活用すべきと考えるが、見解を伺いたい。

2 小学生の朝の居場所づくりモデル事業について

- (1) 実施校拡大の狙いについて伺いたい。
- (2) 学校関係者に対する事業の周知について伺いたい。
- (3) 今後の事業の展開について伺いたい。

3 視聴覚検診事業について

- (1) 屈折検査のモデル区選定の考え方について伺いたい。

4 医療的ケア児サポート保育園について

- (1) 医療的ケア児サポート保育園の事業効果について伺いたい。
  - (2) 医療的ケア児サポート保育園の拡充にあたり見えてきた課題について伺いたい。
  - (3) 医療的ケア児サポート保育園を増やすための今後の取組について伺いたい。
- (要望) 医療的ケア児サポート保育園は、保護者の見学相談に加え、他園からの相談なども担うことから、少なからず負担になる面もあるため、今後はそういった点も意識して取組を充実していただきたい。

## 5 にもつ軽がる保育園について

(1) 令和6年度のにもつ軽がる保育園の事業効果について伺いたい。

(2) 令和7年度のにもつ軽がる保育園の見通しについて伺いたい。

(要望) 多様化するニーズを的確に把握し、スピード感を持って柔軟に対応していただきたい。

## 6 保育所等における業務効率化について

(1) 業務効率化推進事業におけるキャッシュレス決済の実績について伺いたい。

(2) ICTシステムの導入など、保育所等が業務を効率化できるよう、引き続き支援すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 保護者の利便性向上に向けて、市立保育所においても、キャッシュレス決済を導入すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 現場の保育士や保育園を利用する保護者の負担軽減に向けて、業務効率化を一層進めていただきたい。

## 7 こども誰でも通園制度について

(1) 本格実施に向けて、施設が参入しやすくなるような実施施設の負担軽減の工夫について伺いたい。

(要望) 新しい事業に取り組む際には、施設に対する様々な負担軽減策の実施を検討していただきたい。

## 8 保育士・幼稚園教諭等の保育者確保について

(1) 保育・教育人材確保のための取組について伺いたい。

(2) 保育補助者の資格取得をサポートするための取組及び実績について伺いたい。

(3) 子育て支援員等、保育士と同等の知識や経験を持つ人を保育士とみなす特例を拡大すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(4) 一つ一つの事業に邁進するだけでなく、根本的な課題を見極めて、その解決に向けてアプローチしていくことも必要と考えるが、見解を伺いたい。

(5) 本市として中長期的なビジョンを持って、保育者の確保に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 大局的なビジョンを持ち、全力で保育者の確保に取り組んでいただきたい。

1 子育て応援アプリ「パマトコ」について

- (1) パマトコトップ画面を改修した意図について伺いたい。
  - (2) 施設検索機能についても目的別に検索できるように改善すべきと考えるが、見解を伺いたい。
  - (3) パマトコで保有する情報のより効果的な活用方法について伺いたい。
- (要望) 国においては、母子手帳の電子化やマイナポータルとの連携などの議論が進められているため、将来を見据えて、継続的な改善を進めていただきたい。

2 こども、みんなが主役！よこはまわくわくプランについて

- (1) 第1期及び第2期計画のよさを残していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 今回策定される計画は今後5年間続いていくものであるため、しっかりと推進していただきたい。

3 プレイフルラーニングについて

- (1) プレイフルラーニングの狙いについて伺いたい。
- (要望) 今後は、市立保育所での実施の後に、民間の保育園等への展開も見据え、こどもたちが英語に触れる機会を得られるようにしていただきたい。

4 多様な預かり事業における利便性の向上について

- (1) 病児保育事業等の利便性向上に向けた取組について伺いたい。
- (2) 一時預かり事業等の利便性向上に向けた取組について伺いたい。
- (3) 必要な時にすぐに事業が利用できるような事前準備の重要性を、適切な時期に周知していくべきと考えるが、見解を伺いたい。

## 5 ベビーシッターの活用について

(1) 夜間など緊急時にこどもを預けられない場合や、待機児童となった場合などのセーフティネットとして、ベビーシッターの活用を検討すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 安全性・運営面や予算での課題はあると思うが、多方面から検証を進めていただきたい。

## 6 児童虐待の通告について

(1) 児童虐待に関する令和7年度の広報・啓発の取組について伺いたい。

(2) 児童虐待を早期に発見するためには、通告に当たっての心理的ハードルを下げる取組の工夫をすべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 簡単に通告できる仕組み等の検討など、取組をさらに推進していただきたい。

## 7 小学生の朝の居場所づくりモデル事業について

(1) 活動場所の工夫について伺いたい。

(2) 放課後キッズクラブとの連携について伺いたい。

(要望) 人材確保や活動場所等について、放課後キッズクラブと一歩ずつ連携をしていただきたい。

## 8 長期休業期間中の昼食提供事業について

(1) 令和7年度の支払い方法の考え方について伺いたい。

(2) 給食と同様に、経済的に困っている世帯にも支援を行うべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 学校の夏休み等に食事を十分に取れないこどもたちのための受け皿が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 財源には限りがあるため、他局の事業と親和性の高い取組については、データドリブンプロジェクトの活用により、事務執行の効率化も含め、効果的な事業への転換に向けて検証していただきたい。



1 親子関係形成支援について

- (1) 親子関係形成支援事業を実施する狙いについて伺いたい。
  - (2) 事業の対象者へのアプローチ及び支援内容について伺いたい。
  - (3) 今後の事業展開について伺いたい。
  - (4) 愛着形成は、全てのこどもにとって非常に重要なことであり、どの親子関係においても愛着形成上の課題はあるため、最初はハイリスクアプローチで始めたとしても、将来的にはポピュレーションアプローチへと拡充をしていただきたいと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 愛着を形成していくことが、安定的な人間関係を築けることにつながることもからも、親子関係形成支援事業は非常に重要なものだと考えており、大きく育てていただきたい。